



言霊

頭、身体、心を使おう！

笑う門に福来

第18号
発行所
〇〇クリニック
編集部

言葉が脳を作っている

私達は、虫の音を聞いて季節を感じますが、これは日本人特有らしく、西洋人は虫の音が雑音や機械音にしか聞こえないということがインターネットに出ていました。言語脳で聞き分けられているらしく、確かに日本語は雨の降りかた一つをとっても、ザーザーからシトシトまでいろいろな言い方があって景色が言葉で

かびますね。それは日本人の脳が特殊なのでなく、日本語を話すから感じられる脳になる。らしいのです。日本人でも外国語を母語として育てられると西洋型となり、外国人でも日本語を母語として育つと日本人型になります。そういうことです。それは言葉が脳を作っているかと思いません。か

全身に指令を出す脳は実は、言葉で変わる。その言葉の大切さを表しているのが、言霊というものだと言語そのものだと感じました。言葉にはそれだけの力が見えないけれどありますよ。ということをご先祖さんたちには知っていたように、万葉集で日ノ本は言霊の幸わう国と歌われたのは、古の人のこころを良く知って、現代の人はすっかり忘れてしまっただけです。今科学として解き明かされたように思えます。

言葉は遺伝子に作用する
笑い教室で言霊健康取り入れ

言葉は脳に作用するだけでなく、遺伝子にも影響をします。ロシアの生物学者、ピョートル・ガリヤジエフ博士によると、彼の研究の中で、DNAは言葉と振動の影響で頻繁に再プログラムされているという事です。遺伝子には修復能力があるそうで、遺伝子に傷がついたとしても、身体には力強いサポート機能がちゃんとあるのです。確かに発声はのどの振動です。日本語の特質はすべて

の音が母音になるということですから。母音の効果は調べてみました。あ副腎や胸腺を強める。い脳の働きを活性化させる。う足全体のパワーアップ。え胃の働きを強化する。お筋肉の緊張を緩める。痛みの緩和に効果的。童謡には美しい言葉がちりばめられていることを歌ってみて実感しています。よい言霊は頭、身体、心を使いますね。